

大学院宗教文化研究科 カリキュラムマップ(2025年度入学生)

ディプロマ・ポリシー	次のような知識や能力を備えた学生に修士(宗教文化研究)の学位を授与します。 ①世界の宗教文化研究に必要な語学の能力と情報収集力を身につける(意欲・技術) ②宗教文化の専門的知識と幅広い能力を活かし、宗教間の対話や協力に貢献できる(知識・態度・行動) ③異文化間の懸け橋として指導的役割を果たすことができる(思考・行動)							
科 目 名	授業 形態	配当 年次	単位	授業の主題	授業の到達目標	ディプロマ・ポリシーの番号 ◎達成のために特に重要 ○達成のために重要		
						①	②	③
宗教文化研究1	講義	1	2	英文の宗教人類学のリーダー(論文集)をメインテキストに、関連する日本語文献や英語論文を参照しながら、社会学と人類学の代表的な理論や研究者についての基礎的理解を深める。前半は代表的な研究者とその理論について学び、後半は特定の理論や具体的な事例研究について発表を行い、レポートを提出する。	社会学と人類学における宗教研究の古典的理論について理解を深め、自らの研究調査の理論的枠組みを作り上げることができるようになる。	◎		
宗教文化研究2	講義	1	2	・鎌倉仏教の開祖(親鸞・日蓮)がどのように理解されてきたかを知る。 ・近代の民衆宗教の開祖(金光大陣・中山みき)像がどのように構築されてきたかを知る。 ・近世仏教の活動を大和国などの事例を通して具体的に学ぶ。 ・巡礼(参詣)・葬送などを通して日本の基層信仰に関する基本的な理解を深める。 ・民俗行事の現場にでむき、その具体的な営みを知る。	・日本の宗教文化の基礎用語を獲得する。 ・神道・仏教を中心に、地域の民俗行事(基層信仰)の具体的な事象について知見を深めることができるようになる。		◎	
宗教史研究1	講義	1	2	西洋キリスト教史に関する基本的な理解を前提とし、主に聖書と神学の二つのテーマに関する理解を深める。さらにそれらが多様な歴史的展開を経たうえで、現代世界にどのような直接的・間接的な影響を与えているのかについて学ぶ。	西洋キリスト教の大まかな歴史的展開と思想の骨格を理解し、さらにそれらの伝統が陰に陽に現代世界に対して及ぼしている影響について理解できるようになる。		◎	
宗教史研究2	講義	1	2	中村元『東洋のころ』、ヘルムント・フォン・グラゼナップ『東洋の意味』をテキストとして、東洋思想の概観とその思想史を追う。さらに日本思想に多大な影響を与えている輪廻思想に焦点をあて、その特徴について議論する。	東洋思想について概観し、東洋思想の流れを把握する。輪廻転生と業の関係およびその人間観について理解できるようになる。		◎	
比較宗教研究1	講義	1	2	毎回、課題とした文献の読解をもとに、受講生の関心領域との繋がりを考える。具体的には、課題文献の内容に関して学生がプレゼンテーションを行い、教員とディスカッションする。	・宗教を比較研究するために必要な基本的文献をクリティカルに読み解く方法が説明できる。 ・プレゼンテーション能力を養い、わかりやすいプレゼンができるようになる。			◎
比較宗教研究2	講義	1	2	宗教人類学者のクリフォード・ギアツの儀礼論をめぐる課題がどのように展開されているのか、また、それらの課題が宗教人類学の領域にどのような影響を及ぼしたのかを検討する。特にギアツの「人間の概念」を幅広く学際的に取り上げ、我らの事例研究にどのように活用できるのかを試みる。	宗教人類学のアプローチにもとづいて 1)「我ら／彼ら」「合理／非合理」「モダン／プレモダン」などの神話的な二極化を脱構築する。 2) 科学的合理主義を尊重する社会の中に、儀礼的な行為が満ちていることを理解する。 3)多数の儀礼に参加する今日の人々について、再帰的な批判態度を持って、新たな洞察を理解する。			◎
宗教と現代世界	講義	1	2	現代社会の中で宗教が有するプレゼンスや機能、また宗教からの社会発信や社会活動について、ソーシャルキャピタル論などを含め、宗教社会学的に考察することを通じ、現代社会における宗教の役割について理解を深める。	現代世界における宗教の存在意義を学び、説明できるようになる。	◎		
宗教と現代思想	講義	1	2	宗教を思想的に研究するうえで押さえておかなければならない概念と、その概念を軸とする問題系を概観する。とくに、各受講生の研究テーマと直接関連する概念については集中的に検討する。	現代宗教研究に必須の基本概念・思想的テーマを体系的に把握し、とりわけ自らの研究との関連において、問題の所在をそのコンテキストとともに明確に示すことができるようになる。	◎		
天理教研究1	講義	1	2	天理教の教義神学の基礎を中心に検討するが、実践神学や歴史神学などへも視野を広げる。神学上の諸問題に関して、他宗教の神学や哲学的神学との対決を通して理解を深める。	天理教の神学の基礎を思想、実践、組織、歴史の観点から検討し、説明することができるようになる。		◎	
天理教研究2	講義	1	2	天理教神学の理論的展開を、他宗の神学や哲学思想との対話、伝道や社会問題への取り組みなどを通して検討する。神学上の諸問題を多面から検討し、天理教神学の独自性、合理性、普遍性について概説する。	天理教の神学上の展開を宗教間対話、伝道、社会問題への対応を通して検討し、説明することができるようになる。		◎	
宗教文化研究演習1	演習	2	2	欧米の英語文献を講読して、現在の宗教研究の方法論的課題を学ぶ。	宗教文化を批判的に理解し、期末に課題レポートを宗教研究の方法論に関して執筆できるようにになる。	◎		

ディプロマ・ポリシー	次のような知識や能力を備えた学生に修士(宗教文化研究)の学位を授与します。 ①世界の宗教文化研究に必要な語学の能力と情報収集力を身につける(意欲・技術) ②宗教文化の専門的知識と幅広い能力を活かし、宗教間の対話や協力に貢献できる(知識・態度・行動) ③異文化間の懸け橋として指導的役割を果たすことができる(思考・行動)								
	科 目 名	授業形態	配当年次	単位	授業の主題	授業の到達目標	ディプロマ・ポリシーの番号 ◎達成のために特に重要 ○達成のために重要		
			①				①	②	③
宗教文化研究演習2	演習	2	2	宗教の解釈と分析に関する問題(「宗教の内在的理解と外在的理解」「宗教の還元論」「比較宗教論」)、および、テーマ研究の問題(「神話研究」「儀礼研究」「世俗化論」)について、教員による概要の説明と、学生による発表と討議を行う。	現代の宗教文化研究の方法論の問題を批判的に分析・検討することができるようになる。	◎			
宗教史研究演習1	演習	2	2	日本の宗教史上の主要な思想家を取りあげ、それぞれの人物や思想について理解を深めていく。毎回、担当教員の紹介するテキストを読み進めながら、宗教的な思想を読み深める手法を身につける。具体的なテキストに関しては、受講者の人数や研究関心に応じて適宜検討する。	宗教史上の主要な思想家の生涯と著作について調査し、基本的な文献を判読しながら宗教史を学ぶ技法を身につける。		◎		
宗教史研究演習2	演習	2	2	宗教研究の新しい方法論を模索した近年の研究成果の中から、Critical Terms for Religious Studies (1998年)をテキストに選び、とくに宗教史研究の方法論に関わりの深い項目を読み進める。	宗教史研究の基礎理論を身につけるとともに、英語翻訳の課題についても探究することができるようになる。		◎		
天理教研究演習1	演習	2	2	宗教研究における天理教学の位置と意義を理解したうえで、天理教学研究とその方法を明らかにし、天理教学研究の意義を探究する。さらに、天理教のコスモロジーの構造を明らかにし、親神の根源的啓示の意味を理解することによって、天理教の教義がもつ現代的意義を探究する。	現代の諸学問領域の研究成果を視野に入れて天理教のコスモロジーとその特徴を探究することができるようになる。				◎
天理教研究演習2	演習	2	2	天理教学研究とその方法を確認したうえで、天理教のコスモロジーに照らして今ここに生きていることの意味を理解することによって、天理教の教義がもつ現代的意義を探究する。	天理教の教義に関する体系的な研究および理解をめざし、天理教の人間観・世界観とその特徴を探究することができるようになる。				◎
海外研究プロジェクト	実習	2	2	海外研究プロジェクトを希望する者は、自ら海外研修あるいは調査研修を計画する。	修士論文に関連する調査ないしは研修を海外で行なうことによって、研究計画に即した修士論文を執筆する。	◎			
宗教文化課題研究	演習	1	2	論文執筆のために必要な文献の収集や調査方法などを学ぶ。また、他の学生の研究発表について討議し、相互に情報交換をすることで自身の研究課題や研究手法についての理解を深めていく。とくに各自の研究テーマに関わる先行研究を的確に把握する。	入学時の研究計画と春学期の学習成果をもとに、卒業時に提出する修士論文を視野に入れた研究発表ができるようになる。	◎			
宗教文化課題演習	演習	2	2	論文執筆のために必要な文献の収集や調査方法などを学ぶ。また、履修学生は他の学生の研究発表について討議し、相互に情報交換をすることで自身の研究課題や研究手法についての理解を深め、修士論文作成の具体的なプランを確認する。	これまでの学習成果をもとに、卒業時に提出する修士論文の作成を視野に入れた研究発表ができるようになる。	◎			